

平成 2 8 年

高 松 市 教 育 委 員 会 6 月 定 例 会

会 議 録（抄本）

6月22日（水）開会

6月22日（水）閉会

出席した教育長及び委員			
教 育 長	藤 本 泰 雄		
委 員	神 内 仁		
	木 場 巳 男		
	藤 本 英 子		
	葛 西 優 子		
欠 席 した 教 育 長 及 び 委 員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	東 原 利 則		
教育局次長 総務課長事務取扱	森 田 素 子		
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	西 川 典 生		
中央図書館長	内海 美由紀		
学校教育課長	久 保 朗		
少年育成センター所長	篠 原 隆 則		
総務課長補佐	楠 原 昌 能		
総務課長補佐 総務係長事務取扱	秋 山 博 昭		
会 議 録 署 名 委 員	藤 本 英 子		
事 務 局 担 当 書 記	牧 野 小 織		

【特記事項】 傍聴人なし

議 事 日 程（６月定例会）

日程第１ 議案第 28 号 高松市図書館協議会委員の任命について

日程第２ 報告事項

- １ 平成 28 年第 3 回高松市議会定例会提出議案に対する意見の申出について
- ２ 平成 28 年第 3 回高松市議会定例会答弁要旨について
- ３ 子ども議会の開催について
- ４ 高松市少年育成センター運営協議会委員の委嘱について
- ５ 情報モラル保護者啓発パンフレット「家庭ではぐくむ情報モラルー正しく使おうインターネットー」について
- ６ 「高松市子ども読書まつり 読書感想画」及び「高松市図書館を使った調べる学習コンクール」の作品募集について

【平成28年6月22日（水） 議 事 内 容】

午前9時30分 開会

教育長が、会議録の署名委員に藤本委員を指名。

日程第1 議案第28号

議案第28号 「高松市図書館協議会委員の任命について」

中央図書館長から、高松市図書館協議会委員の任命について説明。

<質疑>

（発言する者なし）

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第2 報告事項

報告事項1 「平成28年第3回高松市議会定例会提出議案に対する意見の申出について」

総務課長から、市長より意見聴取のあった平成28年第3回高松市議会定例会提出議案に対する意見について、教育長の代決により「意見は特にない」旨で回答したことについて報告。

<質疑>

- 委 員 生涯学習センターが入っている、むうぶ片原町ビルはどういう機能をしているのですか。
- 教育局次長 商業ビルの上層部がマンションになっている、いわゆる再開発の複合ビル

になっておりまして、生涯学習センターも建築当初から、ビルの１階から４階までに、多目的ホールや研修室などを備えております。この度、建築後１５年が経過するということで、外壁修繕や屋上防水を行うための負担金を補正しています。

- 教 育 長 生涯学習センターは様々な講座を開催しておりまして、先日も終活の講座に大変大勢の方が集まったと伺っています。様々な機能を備えた会議室の貸館と同時にそのような講座の開催も行っています。
- 委 員 今回は生涯学習センターの中の工事ではなく、外だけの工事を行うのですか。
- 教育局次長 主には外の工事ですが、住居部分のマンションの機能を高める工事も含めれると聞いています。今回は生涯学習センターの中の工事はありません。
- 委 員 補正予算についての資料において、校舎整備費の補正額の方が補正前の額よりも大きな数字となっていますが、最初の見積の段階でわからないものなのでしょうか。
- 教育局長 補正額というのは、今回初めて事業費として計上しています。補正前の額というのは、当初予算で今回の事業以外の工事を上げた額ですので、最初の見積と今回の見積の違いではなくて、今回初めて計上しているという見方をしていただけたらと思います。
- 委 員 あえて分けて見積を取る意味はどういうところにあるのでしょうか。
- 教育局長 財政上の問題も一つあります。当初予算に上げるということは前の年の秋には一定の事業や事業費が決まっていなくて当初予算には上げづらいのですが、特に高松一高の場合には昨年基本設計を行っておりまして、その結果が出るのが今年の３月でしたので、その結果を見て初めて実施設計にかかるということで校舎等建設事業費というものが出てきています。ムジカホールについても改修の内容が当初予算の時期に確定しづらかったので、この時期に少しずつ補正予算に上げたという経緯です。本来なら、事業内容、事業費が決まっていれば、前年の秋までに予算要求をして年度当初から予算をつけるべきですが、補正予算で上げるのは確定が遅れたり、当初予算に間に合わなかった状況のものということになっています。
- 教 育 長 補正という名前が付いていますが、補正前額の事業と補正額の事業は全く別の事業と考えたらいいのですね。
- 教育局長 そうですね。

- 委 員 生涯学習センターが入居している、むうぶ片原町ですが、ビル自体の所有者はどこになっているのですか。
 - 教育局次長 住民の方が構成員の管理組合がありまして、今回、改修することが合意をもって決定したことから、それに見合う負担金を出すということです。
 - 委 員 例えば平米数に応じた負担額というものになっているのですか。
 - 教育局次長 はい、ルールを決めて負担額を決定しています。
 - 教 育 長 5階から13階がマンションとなっているのですね。
 - 委 員 生涯学習センターが1階から4階までを所有しているのですか。
 - 教育局次長 そうです。
 - 委 員 管理組合の一員でもあるのですね。
 - 教育局次長 そうです。
 - 委 員 賃貸借ではないということですね。
 - 教育局次長 そうです。
 - 教 育 長 ぜひ、むうぶ片原町にも足を運んでいただけたらと思います。
-

日程第2 報告事項

報告事項2 「平成28年第3回高松市議会定例会答弁要旨について」

教育局長から、平成28年第3回高松市議会定例会での教育委員会関係の質問及び答弁について報告。

<質疑>

- 委 員 資料23ページにICT化の現状やSIMを使った通信方法についての質問がありますが、こういった分野について、教育委員会に専門的な部署があるのでしょ
うか。
- 教育局長 ICT化についての対応については、総合教育センターが担当になっており
まして、その中で指導主事が情報を収集していますが、本当の専門家というのはなか

なかないのが現状です。そのような中、「教育の情報化推進検討会」に本年度から香川大学工学部の先生に入っていただき、様々な技術的な部分について御意見をいただいておりますが、このS I Mについても、御質問をいただいてから調べたり確認する状況ですので、聞いてすぐに回答できる程の専門性は持ち合わせていないのが現状です。

- 教 育 長 国がデジタル教科書やプログラミング教育など、様々なI C Tの教育への活用を進めていますので、理解や対応についてこれから考えていかなければならないと思っています。
- 委 員 「デジタル教科書導入やプログラミング教育等を想定した本市のこれからの情報教育の取り組みについて」ですが、デジタル教科書があって、紙の教科書があるということですか。
- 教 育 長 現在、国は紙の教科書と併用ということを中間まとめ案として、進めています。
- 委 員 デジタル教科書へ移行してしまうと、紙の教科書は無駄になってしまうのではないのでしょうか。また、デジタルに興味を持っている子どもが紙の教科書に興味を湧かなくなってしまう懸念があるのではないのでしょうか。デジタル化によりどうなるのか、私自身勉強しないといけないのですが、あまりにデジタルに移行してしまうのはどうなのでしょう。
- 教 育 長 市長も、もっと線を引く、書く、書き込むということが小学生の頃には大切なのではないかと言われていました。国でも併用になったということは、そういうことを大事にしなければならない、なんとなく分かって理解が早く進むというだけではなく、学ぶ基本をどのように培っていくか考えていかなければいけないということで併用になったのですが、これから先、どうなっていくかというところです。
- 委 員 韓国はデジタル教科書が進んでいて、そういった流れになっているのは事実でして、難しいところですが、デジタル教科書を使っているところの学力が劣っているかというところでもないですね。ただ、手を動かすといった運動と一緒に頭の中で考えるということが大事だと思います。日本も流れとしてはデジタル化を進めていて、本当にそれでいいのかという危惧は抱きます。
- 委 員 デジタル教科書を使った授業を見たことがあるのですが、保護者としては、

調べ学習などについても本をめくって調べる、コンパスで丸を書くなど、様々なものを使って学んで欲しいと思いました。ICTが進むとそういったことが難しくなるのではないかと思います。

○ 委 員 全教科が一斉に必要なかどうかは別として、英語に関しては必要かと思います。

デジタルというのがどの程度のものかはわかりませんが、英語教育を受けてから何十年も英語を学んでいますが、英語が染みついているかと言えば、日本語と同様には話せないです。私は英文学科ですが、話すのはやはりなかなか出てこないというのがあります。紙ベースだけだと言語は難しいと思います。余程、個人が努力して学習をする人は社会人になってからでもぐんぐん上がってきますが。グローバル化と言われて久しいですが、アジアでも他の韓国や中国では小さい頃から英語の教材をしたり、学校で英語のプログラムを毎日のように取り組んでいるという話を聞いたことがあります。これからの子どもたちは、こうした毎日耳で英語に触れる環境にいる外国の子どもたちと同等の立場で、世界で競争し戦っていくことになります。そのような中で、日本の大学のランキングがどんどん下がっているという状況もありますし、やはり早くから言語を取り入れていかないといけないと思います。もちろん担任の先生や英語指導のできる先生、職員をたくさん配置して、教材もできるだけいいものにするということも必要ですが、やはり個人が例えばデジタルでここの教科書を聞きたいと思って開くと音声が出る、ということが普段自宅でもできると、親が話せようが話せまいが、そういう機会があるというのが大事だと思います。先程もお話がありましたが、紙でする時代がだんだん変わりつつあって、会議においても日本では書類を大量に置きますが、外国はタブレットを置くだけです。そういった人たちが劣っているかというとは全然違ってきます。子どもたちが自分で紙をめくって調べたり、自分で書いて覚えるっていうのは必要ですが、急に訓練無しで社会に出た時にすぐそういった対応ができるかというとはできないと思うので、両方必要な気がします。私達の時代はパソコンすらほとんどなかった時代ですが、今は全然違うので、未来を想像しながら教育を考えていかないといけない時代だと感じます。

○ 教 育 長 この答弁要旨につきましては、今後の教育委員会の中の議論の中でも出てきたり、議員さんがこういうことを考えられているということも分かると思いますので、今後の参考にしていただけたらと思います。

日程第3 報告事項

報告事項3 「子ども議会の開催について」

学校教育課長から、平成28年度子ども議会の実施要領について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

日程第4 報告事項

報告事項4 「高松市少年育成センター運営協議会委員の委嘱について」

少年育成センター所長から、高松市少年育成センター運営協議会委員の委嘱について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

日程第5 報告事項

報告事項5 「情報モラル保護者啓発パンフレット『家庭ではぐくむ情報モラルー正しく使おうインターネットー』について」

少年育成センター所長から、情報モラル保護者啓発パンフレット「家庭ではぐくむ情

報モラルー正しく使おうインターネットー」について説明。

<質疑>

- 委 員 フィルタリングの設定についてですが、保護者が契約するときに使えなくしているにも関わらず、2ページのように知らない人と知り合った児童がいるのはどうしてでしょうか。禁止されていないのですか。
- 少年育成センター所長 まず、ゲーム機に関しては携帯電話会社等との契約は関係ありませんので、ここがポイントになってくるところですが、ゲーム機は子ども単独で購入することが可能です。今のゲーム機はW i - F i という無線接続の機能を持っていますので、W i - F i 機能を持っている場所へ行けば、子どもが単独で親の知らないところでインターネットができてしまいます。そのため8ページのような形で、ゲーム機について制限機能がありますので、保護者が機械を操作して、そういうことができないようにする必要があります。それから、携帯電話等につきましては、今、条例等の規定では未成年者に携帯電話等を持たせる際にはフィルタリングをしないのであれば、保護者は文書でその理由を提出しなければいけないとなっています。ですから、原則、しなければいけないというのが実態なのですが、契約自体は保護者がしますから、契約の際に子ども用だと話さないケースがあります。また、スマートフォンはフィルタリングというのを3つしなければ本当の意味では守れないのですが、従来的に携帯電話会社で行うフィルタリングというのは、電話回線用で1つだけです。加えて2つ分のフィルタリングが必要だということを保護者が十分に理解できていなくて、対応が遅れているというのが実態であろうかと考えています。
- 教 育 長 今、少年育成センター所長からお話があったようなことで有効に活用させていただきたいと思います。

日程第6 報告事項

報告事項6 「『高松市子ども読書まつり 読書感想画』及び『高松市図書館を使った調べる学習コンクール』の作品募集について」

中央図書館長から、「高松市子ども読書まつり 読書感想画」及び「高松市図書館を使った調べる学習コンクール」の作品募集について説明。

<質疑>

(発言する者なし)

午前 11 時 06 分 閉会

議決事項

「高松市図書館協議会委員の任命について」